

武器学校・土浦駐屯地 春の一般開放で予備自衛官補をPR

自衛隊茨城地方協力本部龍ヶ崎地域事務所（所長・長谷川2尉）は、4月5日に実施された武器学校・土浦駐屯地 春の一般開放に参加した。

今回、募集ブースへ足を運んでくれた方たちに自衛隊の説明等を実施するとともに、制服体験コーナーや茨城地本マスケットキャラクターの『にゃつとら』との写真撮影コーナーを設けた。

募集ブースでは、締切が迫る「予備自衛官補」を積極的にPRするとともに、新たに採用が開始された「幹部候補曹」の説明や、処遇改善のポスターを掲示しより多くの来場者に周知して、予備自衛官補2件の志願化に繋がった。

来場者からは、「こんなに処遇がいいとは思いませんでした。自衛隊もありですね。」とうれしい言葉をいただきました。

また、写真撮影コーナーでは『にゃつとら』が出てくるとすぐに大勢の来場者に囲まれ、制服を試着して『にゃつとら』と写真を撮る来場者で盛り上がった。

龍ヶ崎地域事務所は、今後も積極的に地域のイベントに参加し、たくさんの方に自衛隊をもっと身近に感じてもらい、一人でも多くの方が自衛隊という職業を目指してもらえよう活動していく。



25式機動広報車と命名！

茨城地方協力本部（本部長・栗秋1空佐）は、令和7年4月14日（月）、広報用車両を導入した。この車両を茨城地方協力本部で『25式機動広報車』と命名し、運用を開始した。

この『25式機動広報車』は、募集態勢強化の一環として、茨城県内の過疎地や募集対象者が多く集まることが期待できる地域に機動的に運用し、走らせることによる自衛隊の周知、市街地広報や各種イベントにおける募集ブースとして活用することを目的としており、ひときわ目を引く黄色を基調としたカラーリングに、茨城地方協力本部マスケットキャラクター「にゃつとら」に加え、イラストレーターのがるー先生描き下ろしの「ジェイシールズ」・「アイピース」が描かれており、令和7年度限定で茨城県各地の市街地広報等で運用していく。

また、本部長自らも通勤・通学の時間帯に併せて登庁に使用して茨城地方協力本部をPRしていく。もし25式機動広報車を見かけることがあれば、ぜひSNS等でシェアしてもらいたいと意気込む。茨城地方協力本部は、25式機動広報車で日常の広報活動をより身近で親しみやすくサポートし、地域とのつながりを深めていく。

